

チェックリスト作成機能の追加について (一般発注者機能)

工事発注担当者がデータのエラーを容易に把握できるよう、現在、副産物窓口担当者メニューに搭載されているチェックリスト作成機能を、一般発注者メニューに追加するシステム改良を行いました。チェックリスト作成機能の機能概要は以下のとおりになります。

1.機能概要

COBRIS に登録されている工事のデータチェックを行い、チェック結果をリストで出力する機能。チェック結果を確認することで、修正内容を容易に把握することができる。

2.データチェック内容

本機能でチェックされる項目は以下のとおりになります。また、本機能でチェックされるデータは不自然と思われる登録内容や異常値の疑いのあるデータであり、必ずしも間違っているデータとは限りません。

コード	概要	詳細
5	工事種別	工事概要で建築系以外の工事種類を選択しているにも関わらず、延床面積に入力があります。
6	不一致	工事概要で選択する「発注機関コード」と「工事場所コード」の関係が一致していません。
9	レンジオーバー	工事概要で入力する「請負金額」、延床面積」、建設資材利用で入力する「利用量」、再生資材利用量、建設副産物搬出で入力する「発生量」、現場内利用量」、現場外搬出量」に異常値の疑いがあります。
12	原単位	建設資材利用、建設副産物搬出で入力している数値が原単位基準値を超えています。
13	解体以外	工事概要で解体工事の工事種類を選択しているにも関わらず、建設資材利用に入力があります。
14	距離オーバー	建設副産物搬出で入力する運搬距離の数値が過大である可能性があります。
15	隣県	建設副産物搬出で入力する搬出先場所と工事概要で選択する「工事場所コード」が隣県の場合に、運搬距離から数値が異常値の疑いがあります。
17	工事種別・構造	工事概要で選択する「工事種別コード」と「構造」の関係が一致していません。
18	品目・搬出先	建設副産物の品目から不自然な搬出先が選択されています。
19	不整合	建設副産物搬出で入力する現場内利用と建設資材利用で入力する供給元が「現場内」について、一致する品目がありません。

20	現場内利用	建設資材利用で供給元種類を「現場内利用」と選択しているにも関わらず、供給元の住所と工事施工場所が一致していません。
----	-------	---

3.操作方法

JACIC 建設副産物情報センターのホームページ (以下、URL)を表示します。

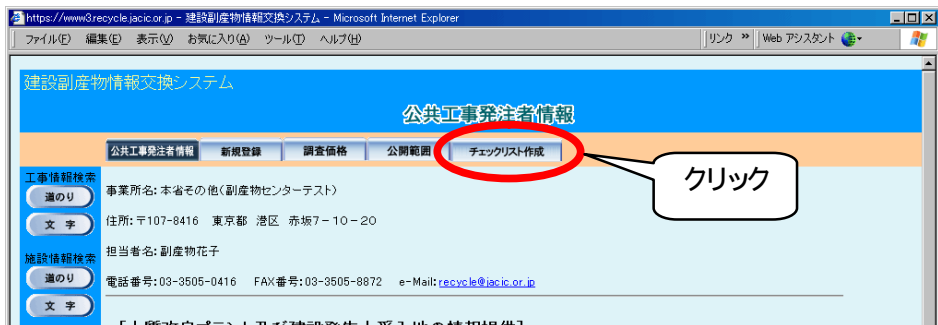
(URL) <http://www.recycle.jacic.or.jp/>

副産物システム (COBRIS)にログインにします。

画面上部の「副産物システム」ボタンをクリックします。

電子証明書が設定されていない場合、ログインできません。

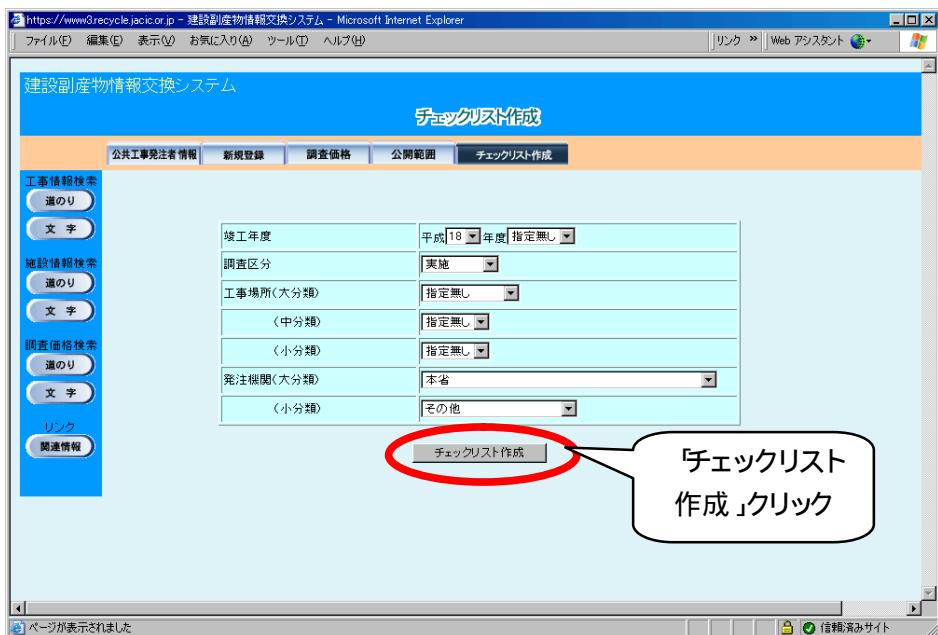
「チェックリスト作成」ボタンをクリックします。



抽出条件を指定します。

抽出条件を指定し、「チェックリスト作成」ボタンをクリックします。抽出条件を指定する際は、工事場所、発注機関のどちらかを必ず指定する必要があります。

また、初期状態の竣工年度は「当該年度」、調査区分は「実施」、発注機関は「ログインしている発注機関名称」が設定されています。



検索条件

項目	条件	説明
竣工年度 (初期値=当該年度)	平成 年度 指定なし	指定年度 (4月1日～3月31日)
	平成 年度 上期	指定年度の上期 (4月1日～9月30日)
	平成 年度 下期	指定年度の下期 (10月1日～3月31日)
調査区分 (初期値=実施)	指定なし	登録されている工事の上位調査区分のみ検索対象とする 例 :計画と実施が登録されている工事 = 実施 計画のみ登録されている工事 = 計画
	計画	計画のみ検索対象とする
	実施	実施のみ検索対象とする
	計画・実施	計画と実施を検索対象とする
工事場所 (大分類)	(地区エリア)	工事概要で登録される工事施工場所
(中分類)	(都道府県)	
(小分類)	(市区町村)	
発注機関 (大分類)	(機関単位)	工事概要で登録される発注機関
(小分類)	(事務所単位)	
(初期値=ログインしている発注機関名称)		

ダウンロードまでの速度を上げるために、竣工工期の範囲を半期で指定することを推奨します。

以下のようなダイアログが表示されるので、[保存]ボタンをクリックしてお使いの PC のローカルにダウンロードを実行します。



【ファイル名 :CKL_(ユーザ ID).exe】

ダウンロードしたチェックリストファイルは、exe 形式で圧縮されています。ファイルをダブルクリックすることで解凍を行い、解凍されたPDF形式のファイルがチェックリストになります。また、PDF ファイルは、発注機関 (小分類)ごとに作成されます。

【チェックリスト】

チェックリストは、以下の内容でダウンロードされます。

COBRIS版 UREDAS
作成日：2005/10/26

搬出先調査チェックリスト

【検索条件】
竣工年度：H17 調査区分：計画・実施 工事場所：関東ブロック 発注機関：910000 本省

工事ID：11585 調査区分：計画 工事名称：〇〇町〇〇号舗装修繕工事 1/2
 発注担当者：建設太郎 工事種類：B-2 舗装（道路）
 請負金額：100万円 工期：H17年10月1日～H17年12月1日

発生箇所	入力値	内容	コメント
100	5. 工事種類	建築系の工事以外に います。	
100000.1	12. 原単位	原単位基準値を超え	
100000.1	9.インナー	データの再確認をし いがあります。）	
1000.0	19. 不整合	対応する現場内利用が無いか、供給元が「現 場内」となっていません。	
101	14. 距離	運搬距離の確認をして下さい。（距離が過大 である可能性があります。）	

工事ID：11585 調査区分：計画 工事名称：〇〇町〇〇号舗装修繕工事 2/2
 発注担当者：建設太郎 工事種類：B-2 舗装（道路）
 請負金額：100万円 工期：H17年10月1日～H17年12月1日

発生箇所	入力値	内容	コメント
4	18. 品目・搬出先	搬出先を確認してください。（建設副産物の 品目から不自然な搬出先です。）	

工事ID：11585 調査区分：実施 工事名称：〇〇町〇〇号舗装修繕工事 1/1
 発注担当者：建設太郎 工事種類：S 木造解体（建築）
 請負金額：100万円 工期：H17年10月1日～H17年12月1日

発生箇所	入力値	内容	コメント
14100	6. 不一致	「発注機関コード」と関係が一致しないコー ドが選択されています。	
5	13. 解体以外	解体工事で搬入があります。	
13103	20. 現場内利用	「工事種類コード」と「構造」の関係が合 いません。	
1000.0	19. 不整合	現場内利用の供給元の住所が工事場所と一致 していません。 対応する現場内利用が無いか、供給元が「現 場内」となっていません。	

1項目に5個のチェック内容が表示されます。
 1工事（計画・実施ごと）に5個以上のチェック
 がある場合 6個目以降のチェック内容は、次
 の項目に表示されます。

チェック対象の工事
情報が表示されます

チェックリスト作成画面で
指定した検索条件が表示
されます

1 工事（計画・実施ごと）に
ついて項目数 / 全項目数

ファイル名：919999 本省 その他.pdf